



EL Vergel農園でクリオージョ系カカオについて説明する農園主（リバス市／写真下）

カカオ豆生産から製品化工程を行う技術力でニカラグアの貧困問題解決に寄与

中南米カリブ地域でハイチに次ぐ貧困国であるニカラグア。特に、都市部と農村部の格差が大きく、同国はその解決に向けてカカオを輸出振興作物の1つに挙げ、国際的なバリューチェーン構築を目指している。その実現に向けて、案件化調査に乗り出したのがBace（Minimal）だ。カカオ豆生産から製品化まですべての工程を自社で行い、オンラインのチョコレトづくりを展開する同社は、同国のニーズや入手したカカオのポテンシャルに期待を寄せている。

深刻な貧困問題の解決にカカオの高付加価値化を目指す

チョコレトの原料であるカカオの生育地域は、「カカオベルト」と呼ばれる赤道の南北20度以内の国々だ。生産量の多い国には、コートジボワール、ガーナ、インドネシア、ナイジェリア、エクアドルなどがある。一方、生産量こそ多くないが、国家生産戦略の中で、カカオの生産や輸出、国際的バリューチェーンの構築を最重要課題と位置付けているのが、ニカラグアだ。

同国は中南米でハイチに次ぐ貧困国で、特に都市部と農村部の格差が大きい。カカオ農家の98%は小規模で、深刻な貧困問題を抱えている。それを解決するには、カカオの生産性や品質の向上などにより付加価値を高め、農家の生活水準を上げていく必要がある。そこに関心を寄せたのがBaceだ。「当社は、カカオからチョコレトまですべての工程を行う『Bean to Barメーカー』です。素材本来の味

わいや香りが楽しめるチョコレトをつくるために、原料には徹底的にこだわっています。その技術やノウハウが、ニカラグアの役に立っているのではと考えました」と同社社長の山下貴嗣さんは説明する。

同社はアジア、アフリカ、中南米などの国から「ポテンシャル」の高いカカオを厳選して輸入し、フェアトレードの平均2〜3倍の価格で購入している。ニカラグアのカカオもポテンシャルを秘めているのではと、2019年3月にJICAの中小企業・SDGsビジネス支援事業を活用して案件化調査に乗り出した。

国全体のカカオの品質を把握できたことは大きな収穫

同社は翌4月にニカラグアに赴いて調査をスタートした。まず、国家農牧技術庁を訪れてカカオ栽培に関する開発計画などを確認した。通商産業振興省ではカカオの生産輸出振興策を、技術開発センターでは生産振興プロジェクトを積み重ねることが、まず重要だと考えたからです」

ほかに、同農業協同組合と一緒にカカオの発酵と乾燥のプロセスを確認しながら、品質を上げるための実験を行った。その結果、気候の問題もあり、ファインカカオに到達するにはもう少し時間が必要との結論に至った。

今後もつながりを維持してカカオの品質向上に寄与

しかし、山下さんは悲観していない。現に同社は、案件化調査を終えた現在も、同国の3軒の農家からカカオを輸入している。また、コロナ禍にあった21年8月には、JICAニカラグア事務所とともに、同国の「カカオ農家によるチョコレト試食セミナー」というイベントを開催。同国とのつながりを維持し、引き続き品質向上に寄与しようと考える取り組みだ。「当社が一番大事だと考えているのは『人』です。カカオ農家が生産を改善する意欲を持っています。勤勉であることを重視しています。中南米と言うと一般的にゆったりしているイメージですが、ニカラグアの人は気質的に真面目で信頼できる人が多い。同じ目的に向かって根気よくやっていると、いいカカオができるかと期待しています」山下さんは今後も、同国とのつながりを大事にしていきたいと力強く語った。



カカオ栽培状況と加工施設の見学、サンプル収集（山下さん／中央）



現地農業組合の技術者とカカオ豆の発酵度の確認作業（マティグアス市／写真上）
各国産カカオの板チョコレトの試食ができる（写真左／富ヶ谷本店）



株式会社 Bace
代表取締役 山下 貴嗣

チョコレトを豆から製造するBean to Barとの出会いをきっかけに、世の中に新しい価値を提供できる可能性を見出し、「Minimal-Bean to Bar Chocolate-(ミニマル)」を立ち上げる。



人気のチョコレトレアチーズケーキ（写真上／富ヶ谷本店）

会社名：株式会社Bace
本社：東京都渋谷区
従業員：40名

2014年設立。カカオ豆の品質を徹底的に理解し、その個性を最大限生かすためのモノづくりを追究。大量生産品とは一線を画す、素材に製法を合わせるやり方で、シンプルかつ本物のチョコレトを提供し、人気を博している。

「そこで実験的に、輸出免許を持つ規模の大きな農業協同組合から、案件化調査事業費用とは別に自社でカカオを輸入しました。商品を海外に出すとい

JICAの民間連携事業

JICAは長年、政府開発援助（ODA）を通じた協力により築いた途上国政府とのネットワークや信頼関係、途上国事業のノウハウを活用し、途上国への海外展開をご検討される日本企業の皆様を支援します。

お問い合わせ

JICA中小企業・SDGsビジネス支援事業窓口

所在地
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1 竹橋合同ビル
TEL: 03-5226-3491 Eメール: sdg_sme@jica.go.jp
https://www.jica.go.jp/priv_partner/index.html



開発途上国における サステイナブル・カカオ・プラットフォーム

持続可能なカカオ産業の実現に向け、業界団体、製菓企業、商社、コンサルティング会社、NGOなど多様な関係者が、カカオ産業の抱える課題の解決に向けて共創・協働するための「場」です。

こんな活動をしています

- ◆サステイナブル・カカオに関連するイベントの開催
- ◆メールマガジンの定期配信
- ◆会員の発意に基づく分科会を設置し、特定のテーマについて関心を共有する会員同士の交流・連携を促進



JICA関連事業を紹介

サステイナブル・カカオ、児童労働、ビジネスと人権等の分野に関連した実施事業をご紹介します。事業や活動の参考に、ぜひ一読ください。



案件名

カカオの高付加価値化とバリューチェーン構築
にかかわる案件化調査
2019年3月～2020年3月

貢献するSDGs

農業



ニカラグア

国名：ニカラグア共和国
通貨：コルドバ
人口：662万人
(2020年、世界銀行)
公用語：スペイン語



ニカラグアは、太平洋とカリブ海の間位置する中央アメリカの国で、湖、火山、ビーチといった雄大な地形で知られている。豊かな自然を目当てに多くの観光客が訪れるが、一方で貧困層の増大が問題になっている。

首都：マナグア